

事業所防災リーダー通信 vol.14

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

事業所防災リーダーへのご登録、ありがとうございました！
東京都防災リーダー事務局からのお知らせです。
本メールは、事業所防災リーダーとして登録された際のメールアドレスにお送りしています。

<< 事業所防災リーダー必携⑭ >>

◆事業所が浸水してしまったら？

ハザードマップ等で、事業所が浸水区域内にあるとわかっていても、危険な場所からの移転などの抜本的な対策をとることはなかなか難しいかもしれません。
また、浸水区域外であっても、一時的に排水処理ができなくなったり事業所に地下施設があったりすると、内水氾濫の影響があることもあります。
事業所が浸水するかもしれない、という視点で、**平時からリスクを把握しておくことが重要**です。

■浸水する可能性のある階（地下施設含む）に重要な設備や物資がありませんか？



【リスク把握のためのチェックリスト（例）】

□非常用発電機室

いざというときの発電設備がそもそも浸水して使えない、ということがないように、なるべく高層階にあることが理想です。

すぐに移設対応が難しい場合は、**浸水時に電力に頼らないBCP**を検討しましょう。

□エレベーターの機械室

発電設備は浸水しなくても、機械室が地下にあり浸水すると、結局エレベーターが使えず移動手段が失われます。発災直後にヒトやモノが動かさない可能性があるなら、**発災前に動かしておく**などの対応が必要です。

□サーバールーム

事業所内にサーバーがある場合、浸水すると通信手段が失われるばかりか企業の重要な情報資産に甚大な影響をもたらします。

平時から浸水等の災害の影響が少ない場所で運用するようにしましょう。

□備蓄物資の倉庫

備蓄物資が地下に保管されていると、浸水時にすべて使えなくなるおそれがあります。**可能な限り、各フロアに分散して備蓄する**などの工夫が必要です。

